記者発表資料

平成２３年１２月　８日
北上川水系水質汚濁対策連絡協議会
（上流支局事務局）
国土交通省 岩手河川国道事務所

油類の取り扱いに充分注意を！
～河川の水質事故抑制のため注意喚起～

河川の水は、飲料水・工業用水・かんがい用水などに利用されており、油事故により水質事故が発生すると取水停止等、重大な被害が予想されます。また、その処理には多大な労力と費用を要する場合があります。

これから、ホームタンクからの小分け作業などの灯油等の取り扱いが増える冬季になり、操作ミスや落雪によるタンクの転倒など、さらなる油事故の発生が懸念されます。

このことから、北上川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局（上流支局長：岩手河川国道事務所長）では、注意喚起のためのチラシを作成して関係機関に配布し、流域住民の方々に今一度、タンクや配管等の日常点検をしていただくと共に、油の取り扱いには充分注意していただきますよう注意を呼びかけるものです。

■北上川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局
河川の水質汚濁対策に関する各関係機関相互の連絡調整を図ることを目的に国土交通省、経済産業省、岩手県、流域１５市町村（岩手県内）で構成されております。

■近年5カ年の水質事故発生状況及び要因内訳（別紙－１参照）

■注意喚起を呼びかけるチラシ（別添参照）

＊発表記者会：岩手県政記者クラブ

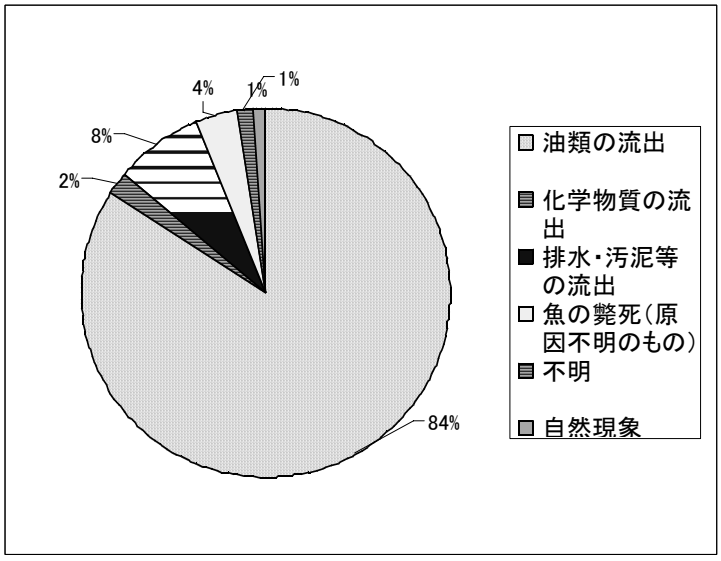
問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局岩手河川国道事務所
盛岡市上田四丁目２－２（TEL　019-624-3281）
河川管理課長　土田　恒年（内線　331）

別紙－１

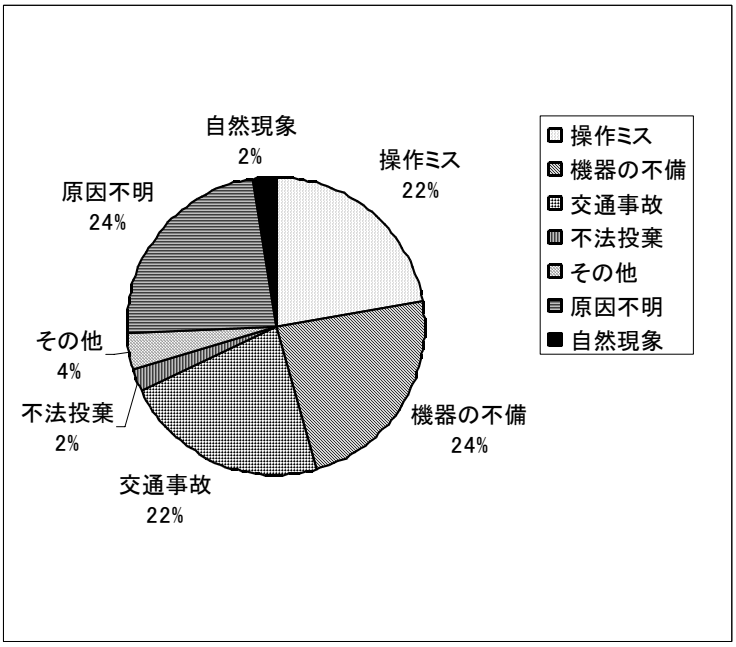
岩手県内の北上川流域では、毎年８０件近くの油漏れ等の事故が報告されております。
今年は５５件程（１１月末）の事故が報告されていますが、その内、ホームタンク等による油流出事故は１４件を数えております。
主な要因としては
・小分け作業中に、その場を離れた
・コックの締め忘れや、コックのゆるみ
・老朽化による配管への亀裂
・雪の落下によるタンクの転倒
などが挙げられ、日常注意をしていれば防げたものが大半です。
なお、油事故の原因で他にも多いのが交通事故です。
冬場は積雪や路面の凍結などで、衝突事故や水路・川などへの転落事故があり、それに伴う油の流出も見受けられますので、交通安全にも充分注意していただく必要があります。

流　出　物　質	５カ年平均
油類の流出	68
化学物質の流出	2
油・化学物質以外の流出	6
魚の斃死（原因不明のもの）	3
不明	1
自然現象	1
計	81

※５カ年
Ｈ１８～Ｈ２２年



発　生　要　因	５カ年平均
操作ミス	18
機器の不備	19
交通事故	18
不法投棄	2
その他	3
原因不明	19
自然現象	2
計	81

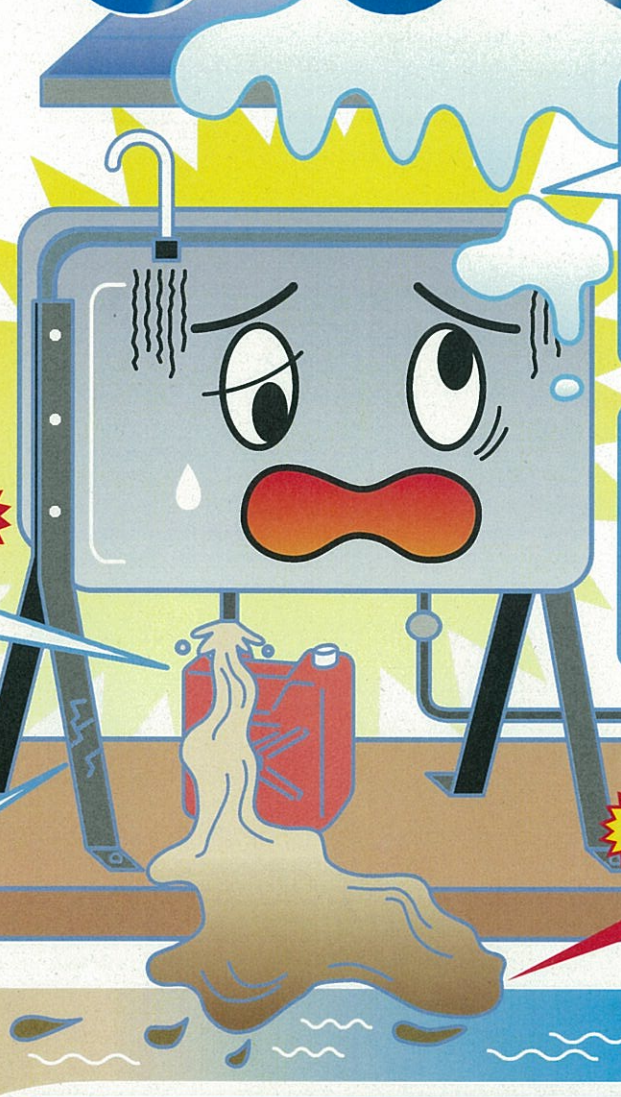


タンクからの 油流出事故にご注意!

一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流出する事故が増えています。その多くは、管理不備やうっかりミスが原因です。

きれいな川を守ろう
油漏れを防ぐための心掛け





屋根からの落雪や除雪時に注意

屋根からの落雪や除雪作業で、ホームタンクや給油管が破損していないか注意しましょう。

配管の場所には目印を

配管の破損を防ぐために雪囲いをしたり、配管の場所が雪でわからなくならないように目印を立てておきましょう。

その場を離れない 目を離さない

ホームタンクなどから灯油を小分けする時は絶対にその場を離れない。

定期点検を怠らない

配管やホームタンクの定期点検に努めましょう。

回収・処理に要した費用は原因者の負担となります!





油の回収作業の様子

油流出を発見したらすぐに 消防署・警察署・市町村 または県の機関へ連絡を!

速やかな対応が被害拡大を防ぎます!

北上川水系水質汚濁対策連絡協議会 上流支局
国土交通省岩手河川国道事務所河川管理課 盛岡市上田4丁目2-2 ☎019-624-3131

盛岡出張所 ☎019-636-0368 盛岡市東仙北1丁目11-11
水沢出張所 ☎0197-24-4173 奥州市水沢区東大通り1丁目2-14
一関出張所 ☎0191-23-2435 一関市狐禅寺字石ノ瀬155-81